



エコアクションニュース

NISHINOMIYA 2011 VOL.11 2011.3

発行：エコアクション事務局
〒662-0832 西宮市甲風園1丁目8-1
西宮市環境学習サポートセンター内
TEL 0798-67-4520
FAX 0798-67-4523
企画：NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)

報告



市民活動カード
活動は3月31日まで
4月10日(必着)で
エコアクション事務局に
送ってください!

環境・福祉・人権・平和・国際に関する活動を行えば「市民活動カード」に「活動」がたまります。活動を続けることで、ひとり一人の意識を高め、地域全体でよりよい「まちづくり」が進められるようになります。

15活動集まれば
お送りください!

エココミュニティ会議は こんな活動をしています!



用海エココミュニティ会議

用海エココミュニティ会議では、地域のコミュニティづくりの一環として、花のコミュニティづくり事業を活用したコミュニティ花壇を浜戎公園に設置しました。

当日は天候にも恵まれ、自治会のメンバーを中心とした15人程度で、市花と緑グループ職員の指導の下、全員が汗を流しての作業となりました。コミュニティ花壇は2時間程で完成し、職員より花壇管理方法等の指導を受け、全員で記念撮影をした後解散しました。

浜甲子園エココミュニティ会議

12月25日、お正月に飾る「しめ縄」の由来を学びながら、甲山農地で出来た稲わらを使って「しめ縄」を作りました。初めて稲わらに触る子どもたちでしたが、講師やボランティアのサポートの下、楽しみながら作ることができました。当日は、甲子園浜小学校・南甲子園小学校の児童15名の参加がありました。



企業でも 大喜建設株式会社 環境活動に活用しています!

『美化活動』
大喜建設(株)では、2年前より地域貢献活動の一環として、毎週月曜の朝に社員全員で、会社前の市役所前線の道路を中心に清掃活動を行っており、また昨年12月には弊社の氏神さまである「廣田神社」の境内清掃を行いました。
さらに、社員全員が「市民活動カード」を持つことにより、エコ活動への参加意識が高まっています。今後も、建設業を通じて喜び溢れる社会づくりに貢献していきたいと思っております。



塩瀬エココミュニティ会議

2月19日、塩瀬公民館講堂にて塩瀬エココミュニティ会議主催「地域フォーラム」を開催しました。参加者72名。今年度は、現在、新聞やテレビなどで話題となっている「生物多様性」をテーマとし、兵庫県立大学自然環境科学研究所の服部保氏を講師に迎え、「生物多様性」について、身近な動植物や万葉集の中の和歌を例にあげながら、参加者に分かりやすくお話いただきました。

講演後、「生物多様性」の疑問点等について服部先生にお答えいただき、今後の活動についてのアドバイスをいただいた他、各グループに分かれて、講演の内容や、身近な塩瀬地域の生物多様性に係る問題について、意見を交換しました。

西宮市 環境まちづくりフォーラム

主催：西宮市環境計画推進パートナーシップ会議、西宮市



2月26日、西宮市役所東館において「環境まちづくりフォーラム」が開催され、「地球温暖化と生きとしいけるもの」と題し、近畿大学先端技術総合研究所教授である宮下実氏が講演されました。講演の後、市内事業所・企業、大学、保育所、行政、エココミュニティ会議によるポスターセッションがあり、ポスター展示52点の前でそれぞれの活動紹介や交流が行われました。160名の参加がありました。講演内容を紹介します。

今、多くの生きものの上にいるような変化が起きています。例えば、ミツバチがヨーロッパ、北米、中国など北半球で少なくなったということが報道されていますが日本では大きな関心を持たれていません。しかし、ミツバチは植物が実を結ぶ受粉に大切な役目を果たしており、植物が育たなければ、それを食べる草食動物も餌がなくなり、さらに肉食動物にも及んできます。ミツバチが少なくなると何が起きるのかという事を深く知ることが大切だと話されました。

桜や梅の開花時期が早まったり、ツバメの飛来やセミの初鳴きも早まってきていることなど、地球温暖化が影響して生物季節に異変が起きていると考えられるようです。少しに見える温度差も生物に大きな変化をもたらすことを北極圏にいるホッキョクグマを例に上げられました。

地球温暖化が進み北極圏で温度が2℃上昇するとします。2℃という温度差を0℃を境にして考えると、マイナス1℃は氷になっている温度であり、1℃は氷がとけている温度であることに注目しなければなりません。ホッキョクグマは氷のある北極海でアザラシを餌として生活しているの、2℃上昇するとホッキョクグマは氷上でアザラシ狩りができなくなるのです。

過去、人間の行いにより絶滅した動物たち、モーリシャスのドービー鳥、タスマニアのフクロオオカミがあります。そして現在、トラは危機に瀕しているということです。

また、身近なところでもアライグマ、タイワンリス、タイワンザルなど外来種が増え、農作物に被害があったり、文化財に損傷を与えたり、生態系を壊していることも重ね、これらは人間が原因をつくり、起きている問題であること、私たちが身近な事柄に目を向け、地球温暖化防止を考え、行動していく必要があることを話されました。

環境パネル展 開催されました



EWC 環境パネル展が3月2日～6日まで、西宮市民ギャラリーで開催されました。今年度は国内529点、海外16カ国から367点の作品が展示され、約1000名の来館者がありました。

EWCのサブシステム、5～6年生エコトレード参加クラスの作品の中には、エコバッグを作り、地域のお店に設置して地域の人に使ってもらうという、地域と学校、子どもたちがつながった活動が見られました。

エココミュニティ会議交流会

3月5日、エココミュニティ会議17地域のメンバーが集まり、環境パネル展を見学した後、意見交換を行いました。この交流会には西宮市パートナーシップ会議のメンバーも参加され、子どもたちの活力ある作品、素直な視点から見た環境問題の捉え方に感心の声が多く聞かれました。



↑河野市長によるあいさつ
「他のエココミの活動も参考になります…」

来年度の市民活動カードは 4月中旬に配布予定です

くわしい情報は
エココミュニティ情報掲示板
<http://newinfo.or.jp>